

税理士
さんによる



税理士法人TAパートナーズ代表
税理士 相浦 圭太

次世代へバトンを つなぐセミナー& 個別無料相談会

あなたはどちらが良いですか？

相続計画
している

子どもたちがみんな仲良く
孫たちもイキイキしている



相続計画
していない

子どもたちが
相続のことで何年も
裁判で争っている



「75歳を過ぎたが まだまだ元気！」
という今が相続計画を立てるときです



11/25(土)

10時～12時



参加費
無料

第一部▶ 不動産オーナーさんと考える3つの相続対策

第二部▶ 個別相談会 1組30分(限定6組)

ご予約連絡先

0120-44-9923

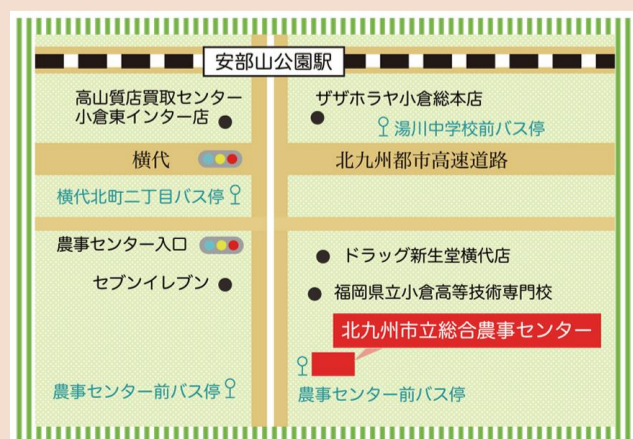
↑ お申込みはこちら →→→
(どちらからでも大丈夫です)

(QRコードは24時間お申込み受付けてます)



★送迎をご希望される方はお問合せの際に
「送迎もお願いします」とお伝えください。

会場 北九州市立農事センター
研修室B



北九州市小倉南区
横代東1丁目6-1

リラックスして
気軽にお話
しませんか



令和5年10月10日
Vol. 228

発行所 加来不動産株式会社
発行 加来寛・スタッフ一同
小倉南区守恒本町一十二二十三三〇一
(〇九三)九六二一五八一
<https://www.kaku-f.co.jp/>



会場まで
お車で送迎
いたします。

ひとこと不動産業界

”LPガス料金、不透明性を是正”

経済産業省は、液化石油（LP）ガスの利用料金に、ガスの利用に関係ない設備費を計上することを禁止する。「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」について、二つの省令を順次改正し、それぞれ2024年度、27年度からの施行を目指す。改正法には、罰則規定も設ける。

今回、オーナーや管理会社は罰則規定の対象ではない。今後は、LPガス事業者とのやりとりにもコンプライアンスが求められるだろう。

《全国賃貸住宅新聞 第1568号より》

先月のグッときた本の紹介

女手一つで必死に育てた息子が、問題ばかり引き起こすことに頭を悩ませる母が主人公です。この母が『ラップ』を通して、自分と息子に向き合い、そして最後には『母VS息子のラップバトル』でお互いの気持ちをぶつけ合う物語です😊

本を読んでいるのに、リズムを感じることができ、すごく不思議な感覚に驚きました。

著書の中で思春期を迎えた娘たちを育てている私に、ハッと気づかされた言葉があります。

「親ってすごく鈍感な生き物だよ。自分の言動が子どもにどんなに消えないインパクトを与えるか、分かってほしい」

子どもだからと何をしても何を言っても良いわけがないのに、つい子どもに強い口調で話していた自分の姿が浮かびました。子育てに悩んでいるお母さんに、ぜひオススメの一冊です。

※レペゼンとは、～を代表するといった自らが背負っている地域を主張する際に用いるヒップホップ用語。



今井の

『レペゼン母』



著者：宇野 碧
出版：講談社

私、入社しました☆

はじめまして！加来不動産に入社いたしました、岸野 翔子（きしの しょうこ）と申します。

パート勤務として資産管理部へ配属となり、主に電話や来店の応対、営業社員の方のフォローなどを日々行っております。

岸野 翔子です。
ヨロシク
お願いします♪



前職は、地元である北九州市内の不動産会社に勤務しておりました。そこで賃貸営業や仲介業者様向けの営業など、約十年勤務いたしました。育休後復職しましたが、仕事・家庭・育児において自分の在り方を考えるようになり、転職いたしました。

加来不動産を知ったきっかけは、前職で賃貸営業をしていたときです。不動産業界と聞くとダークなイメージを持たれがちですが、加来不動産の社員の方は穏やかな方が多く、いつも丁寧に対応して下さい、新卒で就職した私にとっては、とても印象的でした。仕事に限らず人にも誠実である姿に惹かれました。

趣味は、ヨガと旅行です。

もうすぐ3歳になる男の子がいます。産後体力の衰えを感じ（笑）、またことも走り回れる体力をつけねば！と、以前から興味があったヨガを始めました。週に1〜2回、自分の体と向き合う時間を持つことで、不調に気が付いたり、前向きな気持ちになれたり、リフレッシュにもなっています。

学生時代から旅行のためにバイトをするほど、知らない土地や国に行くのが好きです。最近ではコロナなどもあり出かける機会が減っていましたが、ここでも歩ける年齢になってきたので、どんどん色々なところに一緒に行きたいと思っています。おすすめスポットがありましたら教えてください！

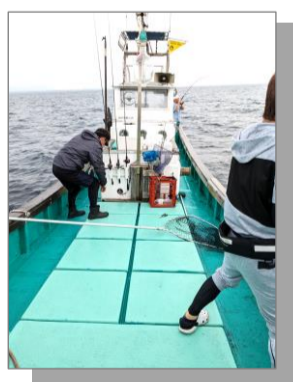
事務所にいることが多いと思いますので、お会いできる機会を楽しみにしています！これからどうぞ、よろしくお願いたします！😊

《岸野 翔子》

井料隆彦の感動体験

今年の夏は魚釣り三昧でした！

普段は、岸壁や磯場からアオリイカをねらうエギング（餌木という擬似餌を用いてイカをねらう釣法）をメインに陸から魚釣りをすることが多いのですが、船を持っていく友人と今年はずっとスケジュールが合うことが多く、乗船させてもらっての釣りをたくさん楽しめました。



漁船のような船で出港♪

今夏の船でのメインターゲットは「ヤリイカ」です。『夜焚きイカ釣り』と聞かれたことはありますか？玄界灘に面する北部九州や山口県から日本海エリアで盛んで、船に取り付けた巨大な電球で真っ暗な海を煌々と照らし、魚やイカを寄せ釣りをします💡

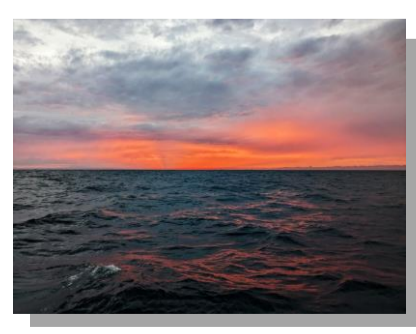


友人が釣り上げた大きなヤズ（ブリの若魚）♪

釣り場までは若松から片道2時間半の長い道のりで、途中ですこしだけ立ち寄ったポイントで友人が60センチを超えるヤズ

（ブリの若魚）を釣り上げた船は大盛り上がりとなりました😊

いざヤリイカポイントへ到着すると、とても素敵な景色がお出迎えしてくれました🌟



地平線に夕日が沈み 素敵な夕焼け♪

自然の雄大さに癒され、やる気がみなぎったところで釣り開始です。今回は水深80メートルもあるポイントでの釣りでした。「仕掛けを真下に投入する↓底をとったらロッドをシャクリ（上下上下させる）ながら徐々に上げてくる↓イカが釣れたらいきなり巻き上げる」のくりかえしでしたので、腕がパンパンになりました。釣れた時の快感は格別です😊



この日一番大きかったヤリイカ♪ 30センチ超🔪

釣り自体ももちろんですが、一緒に行く友だちとの他愛もない会話で笑いがたえず起り、とてもよいリフレッシュとなりました。日常を忘れ、友だちのありがたさを実感できる休日となりました。

《井料 隆彦》

